

- \*暑さでぼんやりしていたら前号からひと月も経ってしまいました。
- \*東京オリンピックも終わりました。暑さに負けないように頑張りましょう！

////// I N D E X //////////////////////////////////////

- ・ ISO 情報……………ISO14075 (ソーシャル LCA) が始まりました
- ・ 海外情報……………ちょっと情報が古くなってしまいましたが、各国のコロナの状況の続きです。
- ・ LCAF からお知らせ…オンライン初級研修報告、無料相談会報告、初級検定のご案内
- ・ 編集後記……………東京オリンピック観戦  
夏休み  
反省：ぼんやりしていると、情報がどんどん古くなります。。。

■■ ISO 情報 ISO14075 (ソーシャル LCA) ■■ ————

7月12日(月)にISO14075(ソーシャルLCA)の第1回会合がオンラインで行われました。正式な名称は、”Principles and framework for social life cycle assessment”と言います。議長(コンビナー)はドイツの女性です。ISO/TC207は「環境」に関する国際標準規格を発行して来ましたが、TC207の範囲が「持続可能性」に拡張されたので、「持続可能性=環境+経済+社会」という観点から、従来のLCA(環境)とライフサイクルコストイング(経済)に加え、ソーシャルLCAが提案されました。提案書には、「The framework includes assessment systems for social impacts and their possible link and interaction with environmental impacts and costs effects. (このフレームワークには、社会的影響の評価システムや、環境影響やコスト効果との関連性や相互作用の可能性が含まれる。)」と書かれています。

私は、UNEP(国連環境プログラム)のLife Cycle Initiativeが2007年に発行した「Social LCA」のガイドライン作りに参加しました。社会を構成する関係者を「労働者」、「消費者」、「地域コミュニティ」、「バリューチェーンの関係者」等の領域に分け、例えば「労働者」の領域では「児童労働の禁止」、「公平な給与」、「適切な労働時間」などの視点を整理するという考え方です。UNEPは、このガイドラインを発展させ2020年に「Guideline for Social Life Cycle Assessment of Products and Organizations 2020」を発行しています。このガイドラインでは、LCAの4つのフェーズ(目的及び調査範囲の設定、インベントリ分析、影響評価、解釈)に沿ったソーシャルLCAの実施方法が示されています。しかし、私は、SDGsとの関係や影響評価の方法など、まだ良く整理されていないと思います。

7月12日(月)の会議は、最初は3時間の会議を3日間行う予定でしたが、1日に短縮され、しかも1時間半で終わってしまいました。本当に顔合わせにすぎませんでした。参加者も議長も含め14名だけでした。欧米は既に夏休みになっていることを考えても寂しい限りです。14人の中に、中国、シンガポール、インドネシア、日本とアジアの国が4人もいるので、欧米が考える社会性だけにならないことが期待されます。次回の会合は、8月30日~9月1日に毎日3時間行われる予定です。まだ、ドラフトの原案も送られてきていません。何を議論するのか、心細い限りです。

■■ 海外情報 各国のコロナの状況です。■■ ————

○前号の発行後に届いた海外情報です。オリンピック開催の前の到着ですので、情報としては古くなってしまいました。お詫びします。和訳は、[www.DeepL.com/Translator](http://www.DeepL.com/Translator)(無料版)を使い、多少の手直しをしました。

-----フィリピン (60代?,男性) 7月12日(月)

We have a mixed scenario in the Philippines. The National Capital Region and its environs, having seen the worst of the pandemic since 2020, is in a stable state. Vaccine roll-out is in

progress and the majority of the early cases were in this region, so it is plausible that we have a few million people with at least partial antibody protection. I am optimistic that the economy is on the road to recovery. However, the threat of the delta variant must be taken into account.

The situation in smaller cities in other parts of the Philippines is much worse. Majority of the new cases are occurring in places that avoided the early impacts of COVID-19 last year. Unfortunately many of these places also have limited healthcare capacity and have had low vaccination rates to date. We are struggling to get the outbreak under control in these smaller cities.

(フィリピンではミックスシナリオになっています。首都圏とその周辺は、2020年以降、パンデミックの最悪の事態を経験しており、安定した状態にあります。ワクチンの展開が進んでおり、初期の症例の大半がこの地域であったことから、少なくとも1回目のワクチンを受けた人が数百万人いることはもったもなことです。経済も回復に向かってしていると楽観視しています。しかし、デルタ株の脅威は考慮に入れなければなりません。フィリピンの他の地域の小規模都市では、状況はさらに悪化しています。新たな感染者の大部分は、昨年のCOVID-19の初期の影響を免れた場所で発生しています。残念ながら、これらの地域の多くは医療能力が低く、これまでのワクチン接種率も低かったのです。このような小規模な都市では、流行を抑えるのに苦労しています。)

---中国(男性、40代、駐在の日本人)

中国では、複数の都市でコロナが散発しておりますが、厳格な隔離政策により、その発生人数は、各都市で多くても十数名程度に抑え込まれています。情報操作との声もあるかと思いますが真実です。隔離政策の肝所は、コロナ患者、及び濃厚接触者が発生した地区の完全隔離、そして周辺住民への徹底したPCR検査となります。

先月の広東省/深圳市の事例ですが、コロナ患者が発生した週には、居住地区そして勤務先オフィスから週三回のPCR検査が義務付けられ、検査結果なくして自由移動できない状況に陥りました。深圳市の住民は、約17百万人と言われており、約二週間程度で何度もPCR検査を繰り返すという偉業です(その実効性は不透明ですが、、、)。ですので、各地区でコロナ患者が発生しても、約一カ月程度で市民生活は正常な活動に復帰しております。

ワクチンについては、中国製以外の欧米製ワクチンが接種できない状況です。また、広東省では外国籍に対する配慮が薄く、ようやく海外駐在員が接種を開始し始めた状況です。その効果と安全性に疑心暗鬼になりつつも、ワクチンパスポートの展開性を考えると、海外駐在員の宿命と腹をくくっている次第です。

海外渡航者の隔離政策は、現在一週間追加となり、隔離施設二週間+自宅一週間となり、厳しくなっています。入国地によっては、隔離施設二週間+自宅二週間の計四週間隔離もあります。

---韓国(50代,男性) 7月12日(月)

Since, we are approaching the end of the semester, I had to finish my grading, disclose it and respond to the students' questions.

COVID situation in Korea is getting aggravated rapidly. Daily new infections above 1000 are 6 days consecutively.

With social distancing measures in the greater Seoul area raised to the highest the level 4 social distancing for two weeks starting from today (July 12th).

Among other restrictions, gatherings of more than two people are banned after 6 p.m., which is the strictest measure ever imposed by the country since it first reported a COVID-19 case in January 2020. Meetings of up to four people are allowed during the daytime.

As the nation is grappling with the fourth wave of the pandemic, health authorities warned the worst may be yet to come.

(学期末が近づいてきたので、採点を終えて公開し、学生の質問に答えなければなりませんでした。韓国のCOVIDの状況は、急速に悪化しています。一日の新規感染者数が1000人を超える日が6日連続で続いています。今日(7月12日)から2週間、ソウル市周辺の社会的距離措置が最高のレベル4に引き上げられました。これは、2020年1月にCOVID-19が初めて報告されて以来、これまでで最も厳しい措置となります。日中は4人までのミーティングが認められています。国がパンデミックの第4波に取り組んでいる中、保健当局は、最悪の事態はまだ来ていないかもしれないと警告しています。)

---フランス(30代,男性) 7月12日(月)

I have taken my two shot of Pfizer, but got quite some days of fever. Now slowly recovering.  
(ファイザーを2回受けましたが、何日も熱が出てしまった。今はゆっくりと回復しています。)

---タイ (30代?,男性) 7月12日(月)

I quite hesitate to reply to you because it seems that Thailand in a serious crisis for COVID 19. The second and third wave of pandemic make us in trouble, more than the first wave. The vaccines are not enough for everyone (less than 30% for whole population), Luckily, I already got 2 Sinovac doses. I hope Thailand can get better soon with proper vaccines. For your information, we opened Phuket in 1st July as a sandbox to re-open tourism. The ultimate plan is to re-open whole Thailand for foreigners within 2021. To be optimistic, the good news is I looking forward to see the Olympic broadcast from Japan.

(COVID19にとって、タイは深刻な危機に瀕しているようなので、あなたに返事をするのをかなりためらいました。パンデミックの第2、第3の波は、第1の波以上に我々を苦しめています。ワクチンは全員分ではありません(全人口の30%以下)。幸い、私はすでにシノバックを2回接種しました。適切なワクチンでタイが早く良くなることを願っています。ちなみに、プーケットは7月1日に観光再開のためのサンドボックス(?)としてオープンしました。最終的には2021年までにタイ全体を外国人向けに再開する予定です。楽観的に考えれば、日本からのオリンピック放送を楽しみにしているという良いニュースもあります。)

---中国 (50代,女性) 7月13日(火)

There are a couple of cases in Yunan now. As the capital and hosts some big events now and then, Beijing is special than other areas that it has quite strict rules for traveling. If you travel back from high risk area, you have to be stay at home for 14days; If you travel back from midimum or low risk area, you have to prepare the COVID test negative report upon you go back to work. So I am trying to avoid Business traveling started from May. Other than this, the ordinary life is normal without any inconvenience.

(現在、雲南省ではいくつかのケースがあります。首都であり、大きなイベントが開催される北京は、他の地域に比べて旅行に関する規則が非常に厳格です。高リスク地域から帰国した場合は、14日間の自宅待機、中リスクまたは低リスク地域から帰国した場合は、職場復帰時にCOVID検査の陰性報告書を用意しなければなりません。そのため、5月からは出張を避けるようにしています。それ以外の日常生活は何の不自由もなく普通に過ごしています。)

---スエーデン(60代?,男性) 7月13日(火)

From your first compilation, I can see how wrong I was at estimating the longevity of this pandemic. Back then I thought the Olympics will be held in a pretty normal form. Now I know better. I can only wish for a successful global vaccination programme to work as quickly as possible, to minimize the chances of yet new serious mutations. But I have my doubts. It is still great to live in times when vaccinations can be developed at will and by design, and where world leaders actually are capable at acting. I would be happy to see more action, though.

(あなたの最初の情報の時に、私がいかに今回のパンデミックの期間を間違っで見積もっていたかがわかります。当時の私は、オリンピックはごく普通の形で開催されると思っていました。今ではよく理解できます。私は、世界的なワクチン接種プログラムができるだけ早く成功し、新たな深刻な変異の可能性を最小限にすることを願うばかりですが、そうならないかもしれません。ワクチン接種が意図的に開発され、世界のリーダーたちが実際に行動できる時代に生きていることは、やはり素晴らしいことです。もっと行動を起こしてくれると嬉しいのですが。)

---オーストリア (60代?,男性) 7月27日(火)

we can travel again within EU. This is good for us, because I write you from our holidays in Sweden. This was not so good for our youngest daughter, who has just finished her chemical highschool and went for celebration with classmates to Cyprus. She got Covid19, despite being vaccinated once but it was not too bad in her case. She had to stay 14 days in quarantene. In general people travel again in EU since July as we have a vaccination pass for EU citizens. From health aspects many people see this as critical, but economic pressure to get back to normal is very high.

Many people reduced social interactions, an estimated 10% to 15% had suffered and

recovered from Covid19 (including non registered cases). Modelers from TU Wien forecasted already a third wave for autumn but could not trigger adequate response measures.

(私たちは再び EU 内を旅行できるようになりました。スウェーデンでの休暇中にこの記事を書いているので、私たちにとっては良いことです。末娘は化学高校を卒業したばかりで、クラスメートとキプロスにお祝いに行ったのですが、これはあまりよくありませんでした。彼女は一度予防接種を受けたにもかかわらず、Covid19にかかってしまいました。彼女は14日間隔離されました。一般的には、EU市民のためのワクチンパスポートがあるので、7月からEU内を再び旅行する人が増えています。健康面では多くの人がこれを危機的状況と考えていますが、経済面では通常の状態に戻さなければならないというプレッシャーが非常に大きいのです。多くの人が社会的な交流を減らし、推定で10~15%の人がCovid19に罹患し、回復しました(登録されていないケースを含む)。ウィーン工科大学の研究者は、秋に第3の波が来ると予測していましたが、適切な対応策を引き起こすきっかけにはなっていません。)

-----

[稲葉] ヨーロッパでは、域内の旅行が自由になり夏休みを海外で過ごす人も多いようです。私のフェイスブック友達は、スウェーデンからポーランド、オーストリアを経てローマへの大旅行を行いました。私もワクチンパスポートを早くもらいたいです。

#### ■■ LCAF からのお知らせ ■■

○LCAF「LCA 初級検定」を8月21日(土)にオンラインで実施します。受験料は一般(8,000円)、学生(3,000円)です。<https://www.lcaf.or.jp/seminar-2.html>

前回の試験問題と解答も公開されています。LCAの知識を確認する機会としてご利用ください。

○LCAF オンライン研修・初級コース「速攻 : 初歩のLCA」を7月27日(火)と28日(水)に開催しました。39名の方にご参加いただきました。

○LCAF「LCA オンライン相談室(無料)」を7月16日(金)に実施しました。わずか6名の方のご参加でしたが、皆さんとの議論は楽しかったです。次回開催を検討中です。

#### ■■ 編集後記 ■■

○東京オリンピックを見ました。期待されていた選手が失敗しても次の若手がバックアップすることができる競技の層の厚さに驚きました。LCAの活動も、もっと実施人口が増えて、層が厚くなると良いと思います。1964年のオリンピックの時に、小学校のテレビでマラソンのアベベ選手を見たことを思い出しました。札幌も暑かったようです。東京でやるのと変わらなかったのでは???

○夏休みを取りたいのですが、コロナ禍で自粛が要請され、それでなくても毎日自宅で仕事をしているので、休みなのか仕事期間中なのかほとんど区別が付きません。気分転換に庭の掃除をしていたら、熱中症のようになって体力も気力も失せてしまいました。おとし熱中症になった時は、オレンジジュースをたくさん飲んで風邪薬を飲んでクーラーが効いた部屋で一晩寝たら回復したのですが、今回はそうは行きませんでした。気力の問題でしょうか?

○前号の発行からひと月経ってしまいました。熱中症とオリンピックで、ちょっと気を抜いている間に、掲載する情報が古くなってしまいました。大いに反省!です。反省するなら猿でもできる? そんなことを言われぬように、頑張ります!

(LCAF 理事長 稲葉 敦)

-----  
ご意見、ご感想、本メールマガジンの解除のご連絡はこちらまで  
[lcaf-contact@lcaf.or.jp](mailto:lcaf-contact@lcaf.or.jp)

-----  
一般社団法人 日本 LCA 推進機構

Japan Life Cycle Assessment Facilitation Centre (LCAF)

(エルカフと呼んで (読んで) ください)

〒71-0014 東京都豊島区池袋 2-36-1

インフィニティ池袋 8F52

電子メール : [lcaf-contact@lcaf.or.jp](mailto:lcaf-contact@lcaf.or.jp)

URL:<https://lcaf.or.jp/>